

平成 28 年度 文部科学省

「保育分野における中核的専門人材養成プログラム開発事業」

モデルカリキュラム検証研修

実施要綱

この研修は、文部科学省採択事業にて「保育分野における中核的専門人材養成」を目的とし実施されます。

平成 23 年度より、文部科学省では、中核的専門人材養成のための新たな学習システムの基盤を整備する目的で、「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業」の委託事業が始まりました。

その一環として、「保育分野の中核的人材養成」について、愛知県現任保育士研修運営協議会が平成 27 年度に採択され、中核的人材養成のための「研修ガイドライン」を作成しました。

研修ガイドラインにおいて規定した「保育分野の中核的人材」とは、職務上の職種「園長」「主任」ではなく、「保育専門職として、各階層（初任・5 年目・育休明け）においての中心的存在、また個別の保育課題（障害児保育・乳児保育）において中心的存在である保育士」を指します。

本事業に関しては、平成 28 年度も継続して文部科学省に採択されました。そして今回は、昨年度作成した「研修ガイドライン」を検証するための研修（検証研修）を実施することとなりました。

「保育分野の中核的人材」の意味や本研修の意義についてのご理解、ご了承の上、本「検証研修」へ是非ともご参加いただきたく、お願いいたします。

申込方法：個人にて「所定申込用紙」をご使用し、郵送、FAX、メールいずれかにてお申し込み下さい。
「所定申込用紙」はホームページからもダウンロードしていただけます。

<http://www.nagoyacollege.ac.jp/gennin/>

※メールにてお申し込みの際は必ず件名を【モデルカリキュラム検証研修申込】としてください。

締め切り：10月8日（土）必着

申込先： 郵 送：〒470-1193 愛知県豊明市栄町武侍48番地
「愛知県現任保育士研修運営協議会」宛て

F A X：0562-97-3674

E-mail：gennin@nagoyacollege.ac.jp

問い合わせ先：TEL：0562-97-3674 不在の場合はメールにてご連絡ください。

一般社団法人 愛知県現任保育士研修運営協議会



**平成 28 年度 文部科学省委託事業 「保育分野における中核的専門人材養成プログラム開発」 事業
障害児保育専門モデルカリキュラム検証研修 実施要綱**

目 的：保育所において障害のある子どもを受け入れる上での基本的な考え方、子どもを見る視点の基礎となる発達を改めて学びます。障害について改めて必要な知識を整理し、より深く理解します。家族支援に対する理解を深め具体的な支援に繋げる力を養います。

受講対象者：障害児担当保育士（概ね保育士経験 5 年以上または障害児担当経験 3 年以上）・保育教諭

定 員：30 名（定員に限りがありますので、申し込み多数の場合調整をさせていただきます）

開催期間：10 月 14 日（金）・15 日（土）・10 月 28 日（金） 3 日間

開講時間：9：20～16：30（10 月 28 日（金）は 14：50 まで）

研修会場：桜花学園本部 **（大学ではありません。ご注意ください）**

名古屋市昭和区緑町 1 丁目 22
地下鉄 鶴舞線 荒畑駅徒歩 5 分

※施設に食堂はございませんので、当日は昼食をご用意いただくか、近隣にてご用意ください。

※駐車場のご用意はありません。公共交通機関をご利用ください。



内 容：

	1 時限目	2 時限目	3 時限目	4 時限目
	90 分間	90 分間	90 分間	90 分間
1 日目 10/14 (金)	障害児保育の視点① 「科学的な視点と ヒューマニズム」	障害児保育の視点② 「集団的なりくみの 大切さ」	地域療育システム 「近年の状況と システムづくり」	きょうだいへの支援 「ひとりの「子ども」 としての支援」
	藤林清仁（同朋大学）			
2 日目 10/15 (土)	小学校との連携 「援助の連続性のあり 方をさぐる」	家族支援の理解 「障害受容だけが とられない支援」	発達と障害の理解① 「見通しのある保育の ために」	発達と障害の理解② 「理論と実践をつなぐ 子どもへのまなざし」
	田中良三（愛知県立大学名誉教授）		向井享子（名古屋女子大学短期大学部）	
3 日目 10/28 (金)	事例検討① 「グループワーク」	事例検討② 「グループワーク」	事例検討③ 「グループワーク」	
	藤原辰志（中部大学）・伊藤理絵（名古屋女子大学短期大学部） 大橋すみ子（大里東みどり保育園 園長）・藤林清仁			

持ち物：出席簿に押印頂きますので印鑑をご持参ください（シャチハタ可）

裏